

第1回特別講座〔6月27日（金）〕

| | |
|---|---|
| 演題： 芝居を愛した作家たち ～文士劇の歴史と盛岡の文士劇～ | |
| 講師： 脚本家 道又 力 氏 | |
| 内容： 明治23年に日本初の文士劇が始まり、石川啄木も出演しました。昭和になり9年文春文士劇が成功でした。22年文士劇が江戸川乱歩の主導で開催され、24年盛岡でも開催されました。文士劇は33年頃にピークを迎えましたが37年文士劇が終わり、一つの時代が終わりました。 平成7年高橋克彦さんの一言「彦次郎さんの姿はよかったなあ」がきっかけとなり盛岡文士劇が復活し、現在に至ります。盛岡文士劇が盛岡市民に愛されていくことを願っています。 |  <p>「文士劇見たことある人」と語りかける講師</p> |

～聴講者の声から～

- 文士劇の歴史がよくわかりました。盛岡で続いていてよかったと思いました。
- 文士劇について詳しく知りませんでした。進んで勉強してみなくてはと思いました。知らないことについて勉強ができること、大変うれしいです。
- 復活した盛岡文士劇を継続するにはそれなりの努力、苦勞、関係者の協力があったらと思うます。文士劇の今後を応援したいと思いました。

第2回特別講座〔7月18日（金）〕

| | |
|---|--|
| 演題： 「楽しく！手軽に！無理なく健康づくり ～今日から出来る健康姿勢講座～」 | |
| 講師： モデル、ヨガインストラクター、姿勢改善アドバイザー 葛巻 舞香 氏 | |
| 内容： 講師が終始一貫して強調した言葉は『姿勢は大事』でした。初めに、『姿勢が変われば、人生が変わる。姿勢を正すとメリットしかない』から話が進みました。次に、正しい姿勢を導くストレッチ。講師自らポイントを解説し実演しながらのストレッチは効果抜群でした。さらに、正しい歩き方で歩こう。足から始まる老化…、こんな自覚はありませんか、と参加者につまずかない為に歩き方が大事と意識させました。 講演は、老化予防の「かきくけこ」の紹介で結びました。 |  <p>健康維持のための体操を実践</p> |

～聴講者の声から～

- 日常生活の中で、改善できることが結構あることに気づくことが出来たので、少しずつ取り入れたと思いました。
- 普段、家でもデイサービスでも惰性で体操していることに気づきました。一つ一つ意識しながら（思い出しながら）体操をして、筋肉を少しでも鍛えていきたいと思います。
- 正しい姿勢が基本だということを学びました。役に立つ内容も、行動しなければいけませんね。頑張ります。

第3回特別講座（本校講座兼特別講座）〔8月28日（木）〕

※ 第3回本校講座を参照してください。

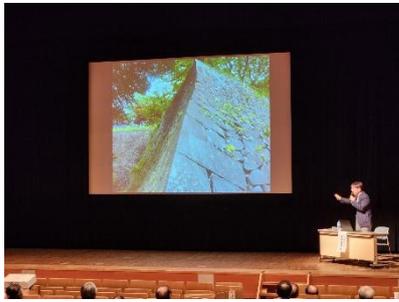
第4回特別講座〔9月5日（金）〕

| | |
|---|---|
| 演題：「いざ、という時に・・・！ 異常気象と災害に備えて & 電気災害に備えて」 | |
| 講師： 盛岡中央消防署 予防係長・火災原因調査員 小笠原 武志 氏 | |
| 内容： 近年の異常気象と頻発する自然災害から自分や家族の生命を守るためにどのような備えや準備が必要なのかを改めて考え意識する貴重な講座でした。 令和6年の中津川の氾濫警戒、平成14年の東中野付近梁川の増水状況写真等を見ながら、自然災害はいつでもどこでも起こりうる。そこで、自分や家族の生命を守るために役立つ「キキクル」を紹介し、避難の基本や災害への心構え等の貴重な情報を学びました。 |  |

～聴講者の声から～

- 「異常気象」がもう普通に思えるほどの異常さで、これからの暮らし方の参考になった。
- テレビ、新聞を見聞きするだけだったので、こうして講演してくれると興味深かった。
- #7119を知れて良かったです。救急車を呼ぶべきかどうか迷ったら、利用したいと思います。
- 災害はいつ起きるかわからないので、常に意識し生活しなければならぬと改めて思った。

第5回特別講座〔10月14日（火）〕

| | |
|--|---|
| 演題：「ようこそ「岩手弁」の世界へ！ ～方言の魅力と岩手暮らしの素晴らしさ～」 | |
| 講師： えふえむ花巻 取締役放送局長 落合 昭彦 氏 | |
| 内容： 東京から盛岡に移住し34年、還暦を迎えた自身の感じる「岩手の暮らしの素晴らしさ」を語りました。参加者でも知らない岩手の魅力に聞き入り、学生は感心していました。 後半、「方言」や「訛り」と言わず「岩手言葉」と表現し、その魅力の紹介では、抑揚（イントネーション）を工夫して相手を思いやることが大事と。このお話では、元アナウンサーならではの見事な表現の違いの披露に学生から思わず笑いがこぼれていました。 |  |

～聴講者の声から～

- 盛岡在住半世紀ですが、未だに知らない話、事柄等があり、楽しく勉強になりました。
- 方言ではなく「岩手言葉」の意味に納得し、岩手言葉の優しさを知ることができました。
- 岩手、盛岡の良さ、東京の人から見ると当たり前のことが素晴らしいものなんだと、聞いていて嬉しく思った。